

ラズパイオーディオの楽しみを倍増する 「Terra-Berry」DAC 専用ケース

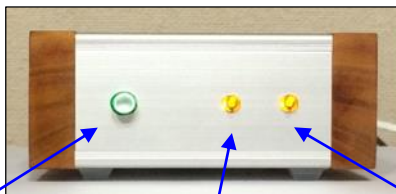
26,000円(税別)

Terra-Berry DAC 専用ケースの特長

- 専用パーツを用意し、美しい木製サイドパネルを使ったケース

[専用パーツを装着した状態]

(表)



電源スイッチ
・ONでLED点灯
・1秒長押しでOFF

DAC切替SW
・LED消灯:自動モード
・LED点灯:手動モード

DACモードSW
・LED消灯:PCM
・LED点灯:DSD

(裏)



RCA端子LR
バランス出力

LAN

USB×4

DC12V入力

[ケースに付属する専用パーツ類]

- ACアダプタケーブル
- 電源基板
- バランス出力ケーブル
- RCAケーブル
- パネル用スイッチ基板ケーブル
- 木製サイドパネル

[樺の自然木を使った木製サイドパネル]

自然木のためすべて木目が異なります。

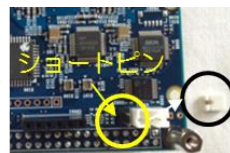


- 電源は12V入力に対応
他に使用されることが多いDC12V電源(ACアダプタ2.1Φ)入力に対応しています。電源基板で5Vに変換します。DAC用は音質を重視してアナログレギュレータを使い、Raspberry Pi用は効率を重視してスイッチングレギュレータと使い分けています。電源回路は完全に分離されRaspberry Piからのノイズの回り込みをなくしています。(ACアダプタは付属していません)
- 木製サイドパネルは熟練した家具職人の手によるオリジナルです。
十分に乾燥した樺の自然木を使い、ネジ穴は強度が保たれるように特別な加工をしています。特殊なオイル塗装により美しい木目を保ち、長期間使って頂くと更に深みが出てきます。

ご使用前の注意事項

- 対応するRaspberry Piは、1B+, 2B, 3Bです。
- 3Bでご使用の場合、電源容量はネットワークプレーヤー程度の負荷までしか対応できません。オーディオ用にご使用されることを前提としていますので、画像処理等の消費電力の大きい用途には適していません。
- 3BのWi-Fi機能はお客様の環境によって異なりますので確認していません。
- ACアダプタは付属していませんので 8V~12V 1A 以上のものをご使用ください。
- **Terra-Berry DAC の電源ショートピンは必ず外して下さい。**
外さないと不具合につながる可能性があります。

2ページ ④ に記載

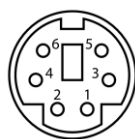


[お問合せ窓口]

【販売】 株式会社ブライトーン URL: <http://www.bright-tone.com>
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田一丁目22番3号 早稲田大学インキュベーションセンター12室
Tel:03-6869-0516/Fax:03-6868-7064

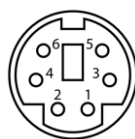
訂正の履歴

2016.10.04 バランス出力部の訂正
バランス出力_Lchの極性記述が間違っていました。
お詫びして訂正させていただきます。



【誤】

1: L+(HOT)
3: L-(COLD)
5: GND
2: R+(HOT)
4: R-(COLD)
6: GND



【正】

1: L-(COLD)
3: L+(HOT)
5: GND
2: R+(HOT)
4: R-(COLD)
6: GND

内容物の確認

このたびは弊社「Terra-Berry DAC 専用ケース」をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。同梱されている内容物は下記の通りです。

不足しているものがございましたら弊社宛ご連絡頂きますようお願い申し上げます。

- ① アルミ上蓋 n=1
- ② アルミ下板 n=1
- ③ 木製サイドパネルLR n=各1
- ④ リアパネル(RCAケーブルLR/バランス出力ケーブル/電源ケーブル取付済) n=1組
- ⑤ スイッチ基板 n=1
- ⑥ 電源基板 n=1
- ⑦ フロントパネル n=1
- ⑧ スイッチパネル接続ケーブル n=1
- ⑨ 電源基板接続ケーブル n=1
- ⑩ 皿ネジM3×20 n=8
- ⑪ M2.5×6スペーサ n=4
- ⑫ M2.5×11スペーサ n=2
- ⑬ M2.5ボルト n=4
- ⑭ 足 n=4

以下のものは含まれていません。

- ⑯ Terra-Berry DAC 及び付属ネジ類→別売
- ⑰ Raspberry Pi →お客様がお手持ちのものを
ご使用ください

⑯ Terra-Berry DAC

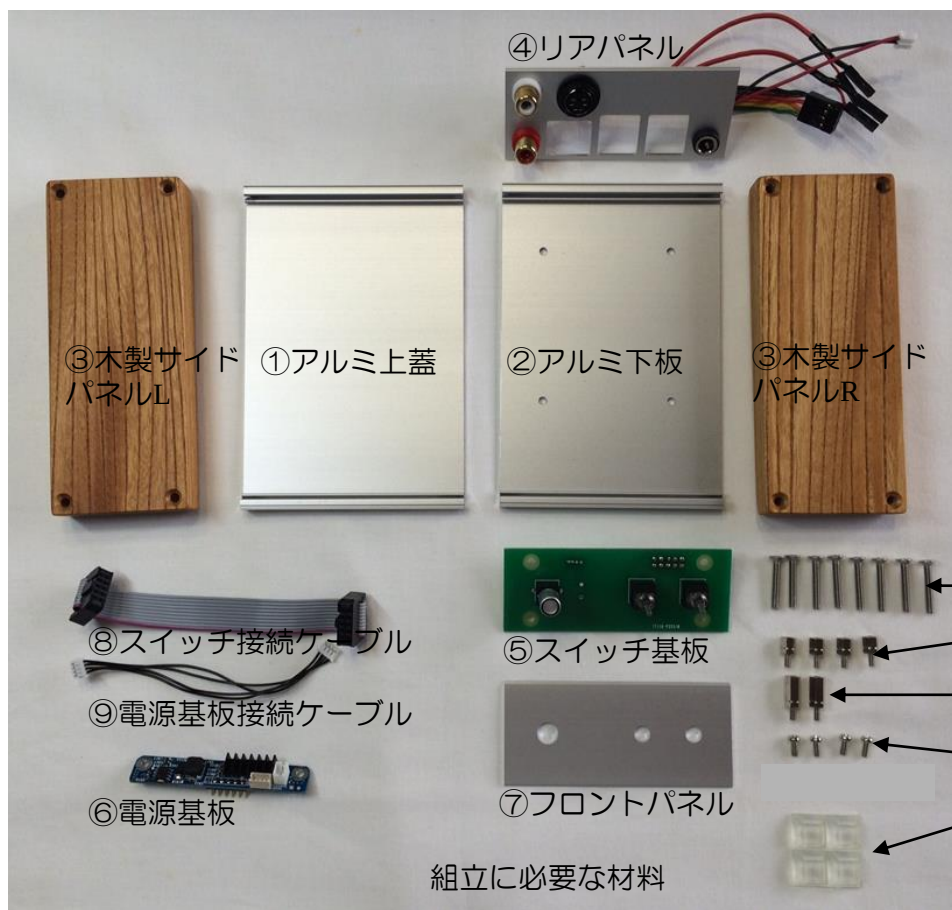


M2.5×11スペーサ

M2.5ボルト

M2.5ナット

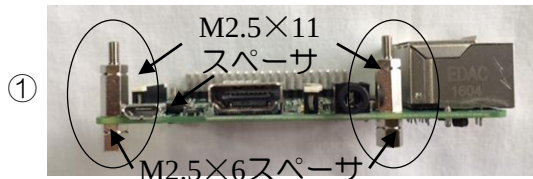
⑰ Raspberry Pi



① 事前準備

ケースを組み立てる前に Raspberry Pi に Terra-Berry DACを取付けます。

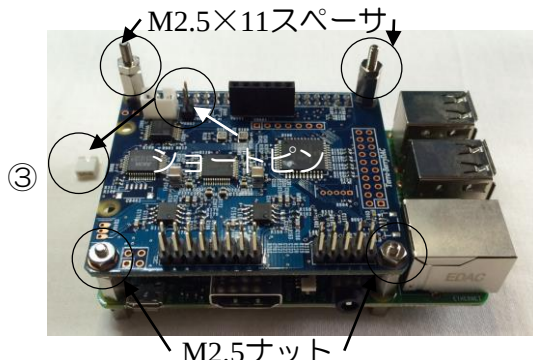
- ① M2.5×6のスペーサをRaspberry Pi の下側4ヶ所に取り付けます。反対側にM2.5×11スペーサを4ヶ所取付けて固定します。



- ② できあがりはこのようになります。あらかじめ動作確認済みのSDカードをRaspberry Piに挿入しておいて下さい。



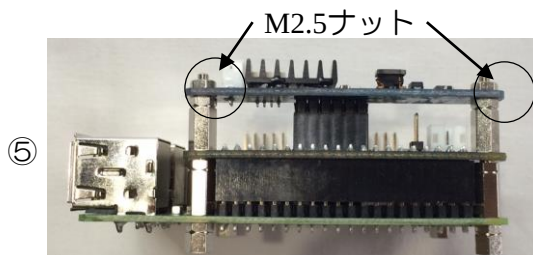
- ③ 次にTerra-Berry DAC をこの写真のように取り付けて、**ショートピンを外します**。基板の出力端子側をM2.5ナットで固定し、GPIO側をTerra-Berry DACに付属のM2.5×11スペーサで固定します。**M2.5ナットはTerra-Berry DACに付属のものをお使い下さい。**
※ショートピンは必ず外して下さい。



- ④ 電源基板を写真のように方向を間違わずにTerra-Berry DAC基板のコネクタに取り付けます。**※電源基板を逆に挿入すると不具合が発生しますので間違わないように装着して下さい。**



- ⑤ 最後にM2.5ナットで電源基板を固定すればできあがりです。



RasPi+DAC基板
できあがり写真

② RasPi+DAC基板の取付

RasPi+DAC基板を取付けます。

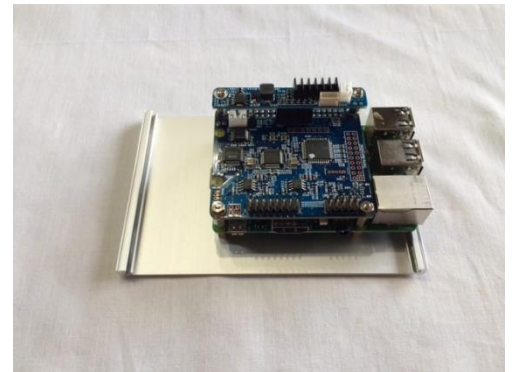
- ① アルミ下板のネジ穴4ヶ所にRasPi+DAC基板をM2.5ボルトで取り付けます。この時、少し緩めに締め付けて、後で位置を微調整できるようにします。

①



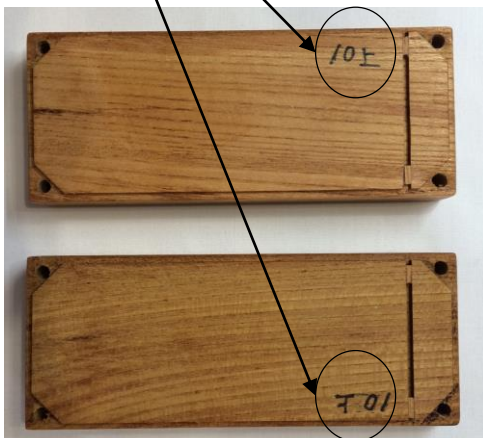
- ② 取付けた後の写真です。方向を間違わずに取り付けて下さい。

②



- ③ 木製サイドパネルは取付しやすいようにペアリングされています。(どちらでも構いません)の片側をアルミ下板にM3×20のネジで固定します。少し緩めに締め付けて下さい。「**上」と書かれている方を上にして取付けて下さい。

③



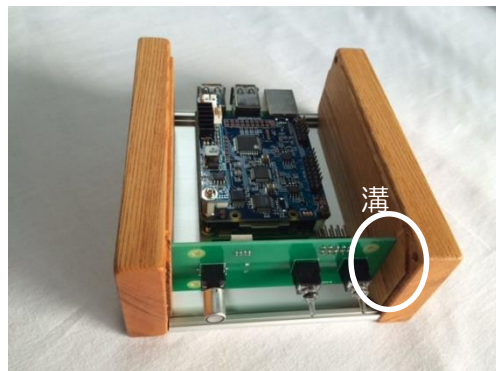
木製サイドパネルは出荷時の取付確認のためペアリングされています。裏面の数字はペアリングの数字です。

裏面は加工の都合上、少しキズ等がある場合がございます。

③ スイッチ基板と木製サイドパネルの取付

スイッチ基板と木製サイドパネル及びフロントとリアのパネルを取付けます。
この作業は難しいので慎重にゆっくりと進めて下さい。

- ① 片側の木製サイドパネルを固定したら溝にスイッチ基板を差し込みます。少し硬い時は調整しながら基板を挿入してください。基板が挿入で来たら基板を手で固定しながらもう片方の木製サイドパネルを取付けます。基板と両方の溝がうまくはまるように慎重に作業して下さい。

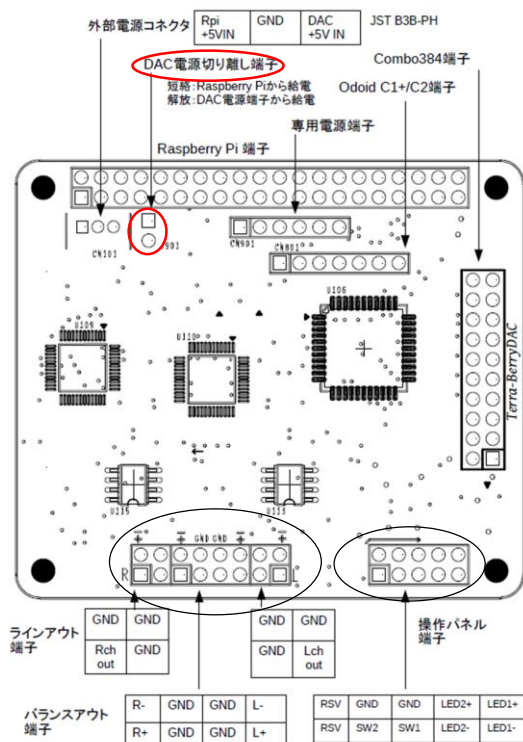


- ② 溝にスイッチ基板がうまくはまったら、もう片方の木製サイドパネルをM3×20のネジで固定します。この時、基板が外れやすいのでゆっくりと作業を進めて下さい。ネジはやや緩めに基板が外れない程度に締め付けて下さい。



Terra-Berry DAC 端子配置

次ページの組立作業で必要なコネクタの端子配置は右の図のようになります。必要な時に参考にして作業して下さい。



④ リアパネルとケーブルの接続

各ケーブルの接続を行います。極性を間違わないように慎重に作業して下さい。

① リアパネルに接続されているケーブルをTerra-Berry DAC基板に取り付けます。写真のように間違わないようにコネクタを慎重に挿入してください。

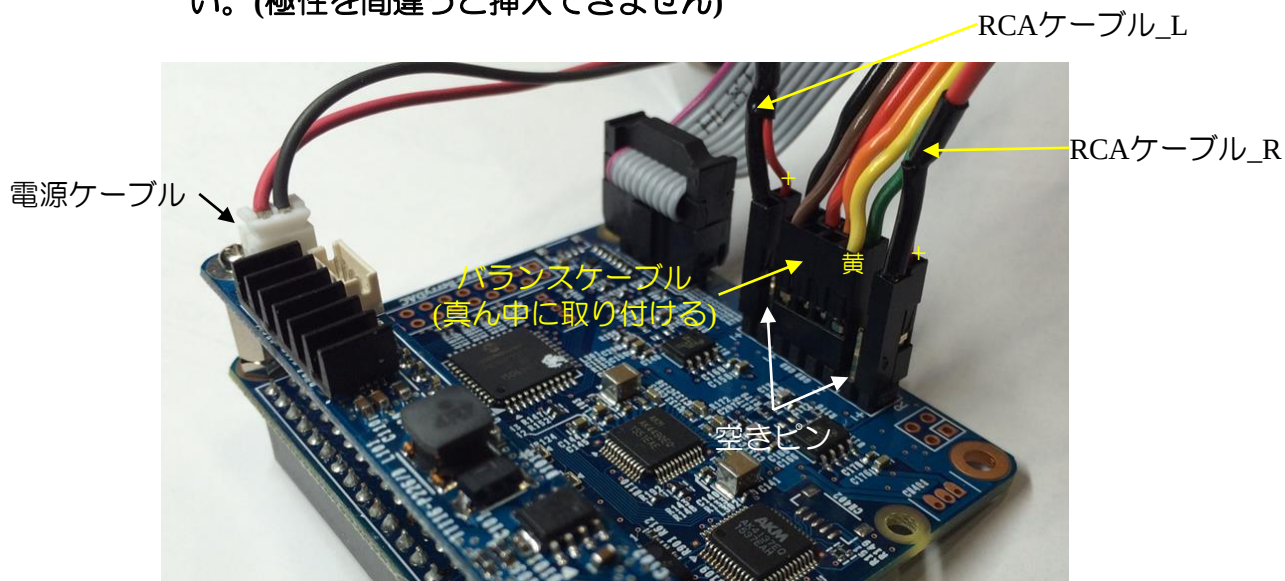
- 出力ケーブルの接続

バランスケーブルを黄色の線が手前になるように真ん中に接続して下さい。

RCAケーブル_LRを写真のように両端に接続して下さい。(手前が「-」)

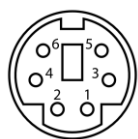
- 電源ケーブルの接続

電源ケーブルのコネクタを写真のように極性を間違わないように接続して下さい。(極性を間違くと挿入できません)

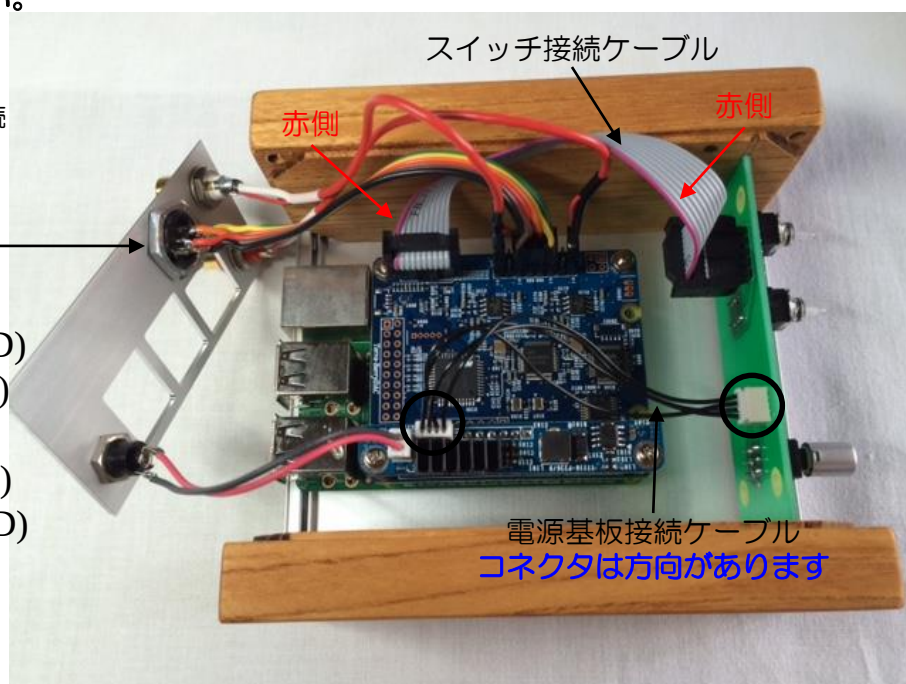


② 写真のようにスイッチ接続ケーブルと電源基板接続ケーブルを極性を間違わないように接続して下さい。

バランスコネクタ接続
(ミニDINコネクタ)



- 1: L-(COLD)
- 3: L+(HOT)
- 5: GND
- 2: R+(HOT)
- 4: R-(COLD)
- 6: GND



⑤ 最後のケース組立

フロントとリアのパネルの固定

- ① フロントパネルの穴をスイッチに合わせて写真のように取り付けて下さい。うまくスイッチが合わない場合はスイッチ基板を少し上下させて合わせて下さい。合わせたらM3-20の木製サイドパネルのネジを少し強く締め付けて固定して下さい。



このネジを少し強く締めて固定する

- ② リアパネルを写真のように取り付けて木製サイドパネルのM3-20のネジを少し強く締めて固定して下さい。



このネジを少し強く締めて固定する

⑥ アルミ上蓋の固定と足の貼付け

最後の組立です。動作チェックして完成です。

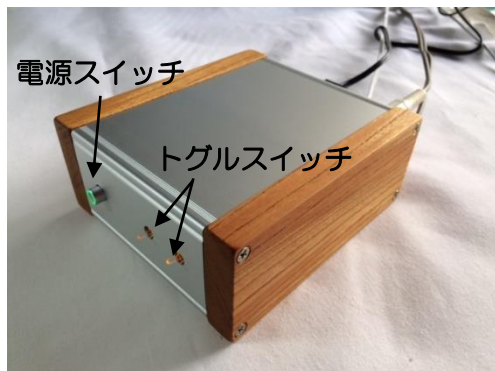
最後の組立

- ① アルミ上蓋を取付けて、木製サイドパネルの上側のM3-20ネジ4本を締め付けて下さい。ネジを緩く締めていた箇所もしっかりと締め直して下さい。
- ② すべてのネジをしっかりと締めた後、裏側に付属の足を貼り付けます。足は強力な両面テープですので好きな位置に貼ってください。別に好みの足をお持ちであれば、そちらをつけて頂いても構いません。これで組立は完成です。



【動作試験】 ※SDカードを必ず挿入してください。

- ① 動作試験はRCAケーブルにアンプを接続し、LANケーブルと音楽の入ったUSBメモリーを接続して、お手持ちの12V ACアダプタを接続して下さい。
- ② 電源スイッチを押すと電源が入って起動します。この時電源スイッチボタンのLEDが点灯していればRaspberry Piに電源が供給されています。電源投入時にトグルスイッチが0.5秒ずつ点滅しますのでそれでDACの起動は確認できます。しばらくしてRaspberry Piが立ち上がりましたらDAC切替スイッチ及びDACモードスイッチを切り替えてLEDがON-OFFすれば動作試験完了です。



電源スイッチは、ONは押すとすぐ起動し、OFFは1秒以上長押しです。

それでは楽しいオーディオライフをお楽しみ下さい!!